

第6次高浜市総合計画(中期基本計画)市民意識調査

**まちづくりや市民生活の現状
及び児童・生徒の意識や行動に関する
についてのアンケート報告書**

**平成26年1月
高浜市**

目 次

1 調査の概要	1
(1) 調査の概要	1
(2) 調査結果の見方	1
2 まちづくりや市民生活の現状についてのアンケート	2
(1) 回答者の属性	2
(2) 高浜市のまちの状況について	5
(3) 高浜市の市政やまちづくり活動などへの参加について	11
(4) 高浜市に暮らす日常の「心地よさ」について	15
3 児童・生徒の意識や行動に関するアンケート	18
(1) 回答者の属性	18
(2) 児童・生徒の意識や行動	20

1 調査の概要

(1) 調査の概要

◆調査目的	<p>本調査は、現在策定中の第6次高浜市総合計画中期基本計画（平成26年度～平成29年度）におけるまちづくりの進み具合を測るために掲げる「みんなで目指すまちづくり指標」の現状値を測定するために実施した。</p> <p>調査結果（分析・とりまとめ結果）は、高浜市総合計画審議会等での指標（みんなで目指すまちづくり指標）設定の基礎資料として活用する。</p>	
◆調査対象	高浜市内在住の18歳以上の市民から無作為に抽出した各2,500人	高浜市内の小学3年生から中学3年生合計3,501人
◆調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ① 高浜市のまちの状況について ② 高浜市の市政やまちづくり活動などへの参加について ③ 高浜市に暮らす日常の「心地よさ」について ④ 回答者の属性 ⑤ 高浜市のまちづくりについての自由意見 	<ul style="list-style-type: none"> ① 回答者の属性 ② 児童・生徒の意識
◆調査方法	郵送による配布・回収	学校を通じた配布・回収
◆調査期間	平成25年11月7日に配布 11月21日を回答期限として回収	平成25年11月6日に配布 11月13日までに回収
◆回収状況	<ul style="list-style-type: none"> ・配布数 2,500票 ・回収数 978票 ・有効回収数 975票 ・有効回収率 39.0% <p>《参考》前回調査（平成25年4月） 有効回収率 42.8%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・配布数 3,501票 ・回収数 3,401票 ・有効回収数 3,401票 ・有効回収率 97.1% <p>《参考》前回調査（平成25年4月） 有効回収率 97.3%</p>

(2) 調査結果の見方

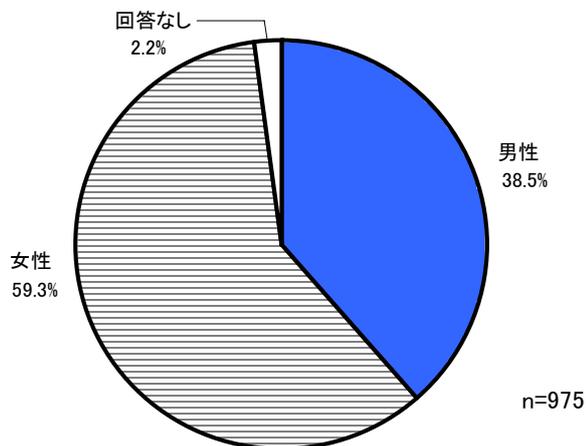
○比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。このため、百分率の合計が100.0%にならないことがあります。

○基数となる実数はnとして掲載し、各グラフの比率はnを母数とした割合を示しています。

2 回答者の属性（設問 12）

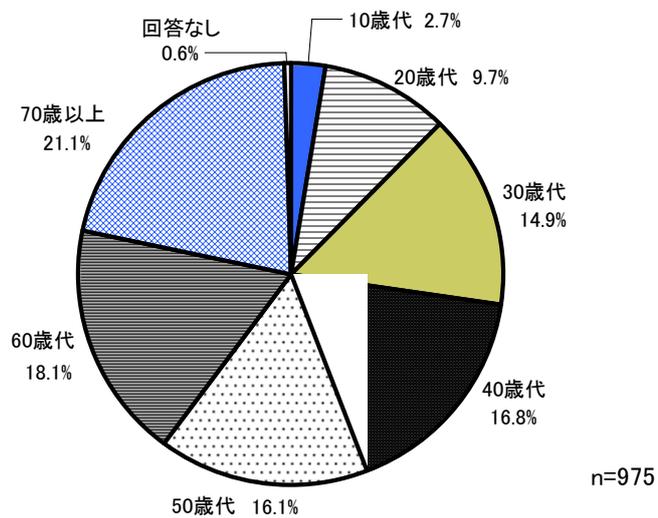
①性別

「女性」が 59.3%、「男性」が 38.5%
となっています。



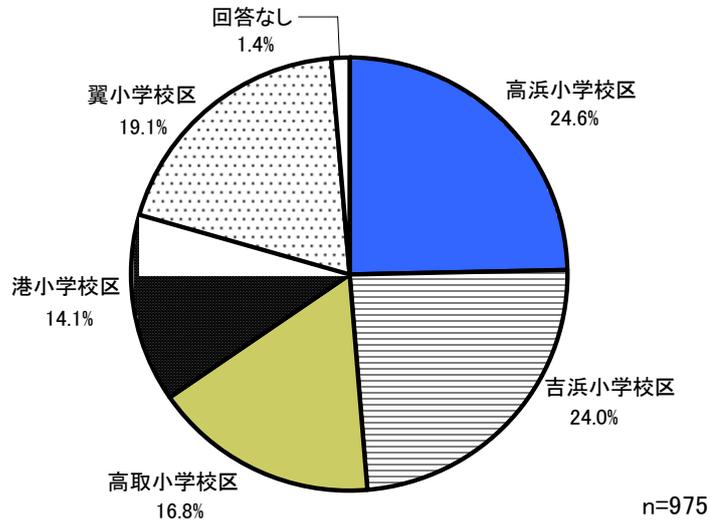
②年齢

最も多いのは「70歳以上」で 21.1%
ですが、次いで「60歳代」(18.1%)、
「40歳代」(16.8%)、「50歳代」
(16.1%)で、50歳代以上が半数以上
を占めています。



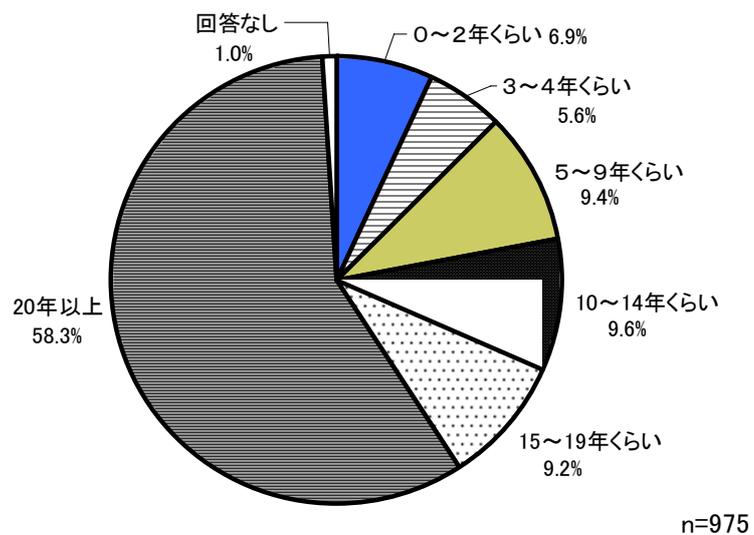
③居住地区（小学校区）

最も多いのは「高浜小学校区」で24.6%、次いで「吉浜小学校区」(24.0%)、「翼小学校区」(19.1%)の順になっています。



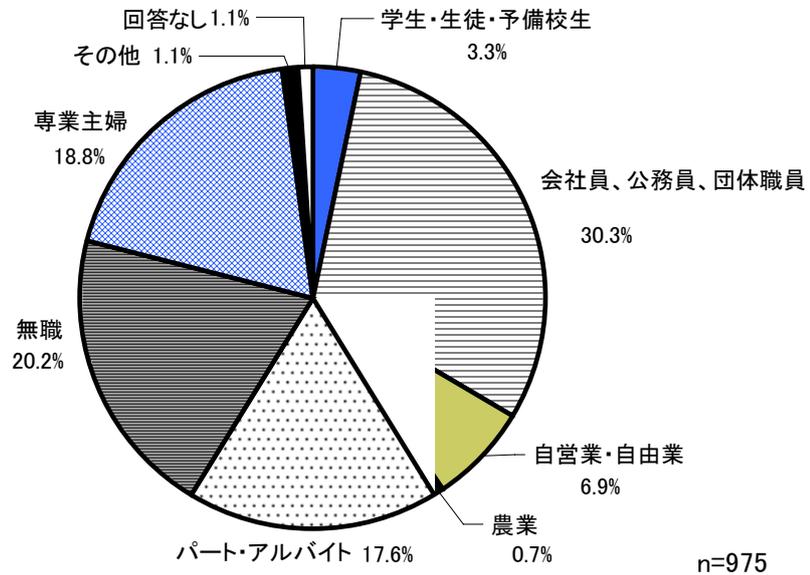
④居住年数

最も多いのは「20年以上」が58.3%と半数以上を占めており、「10～14年くらい」(9.6%)、「5～9年くらい」(9.4%)が続いています。



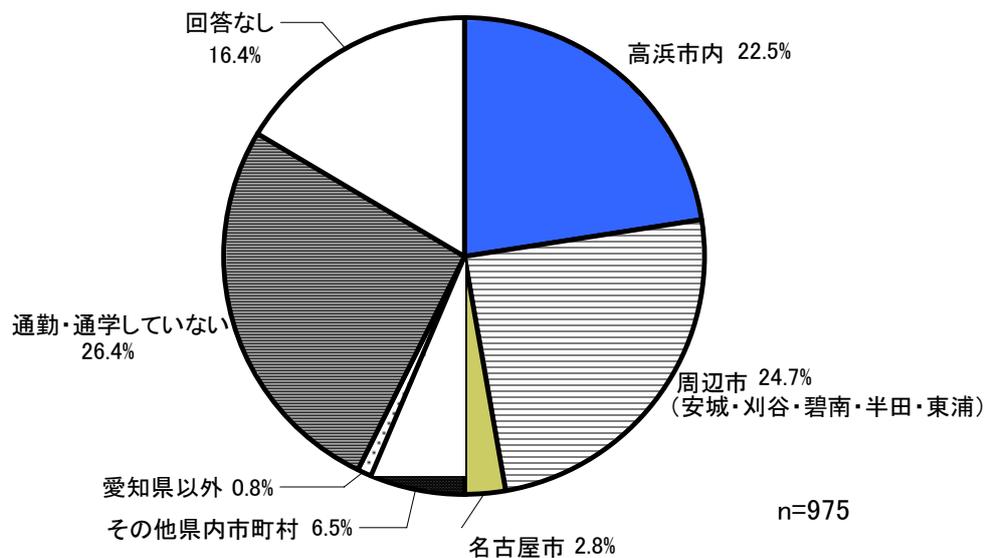
⑤職業

「会社員、公務員、団体職員」(30.3%)
が最も多く、「無職」(20.2%)、「専業主婦」(18.8%)、「パート・アルバイト」(17.6%)が続いています。



⑥通勤・通学先

通勤・通学しているのは回答者の6割近くで、通勤・通学先として最も多いのは「周辺市町(安城・刈谷・碧南・半田・東浦)」(24.7%)で、次いで「高浜市内」(22.5%)となっています。



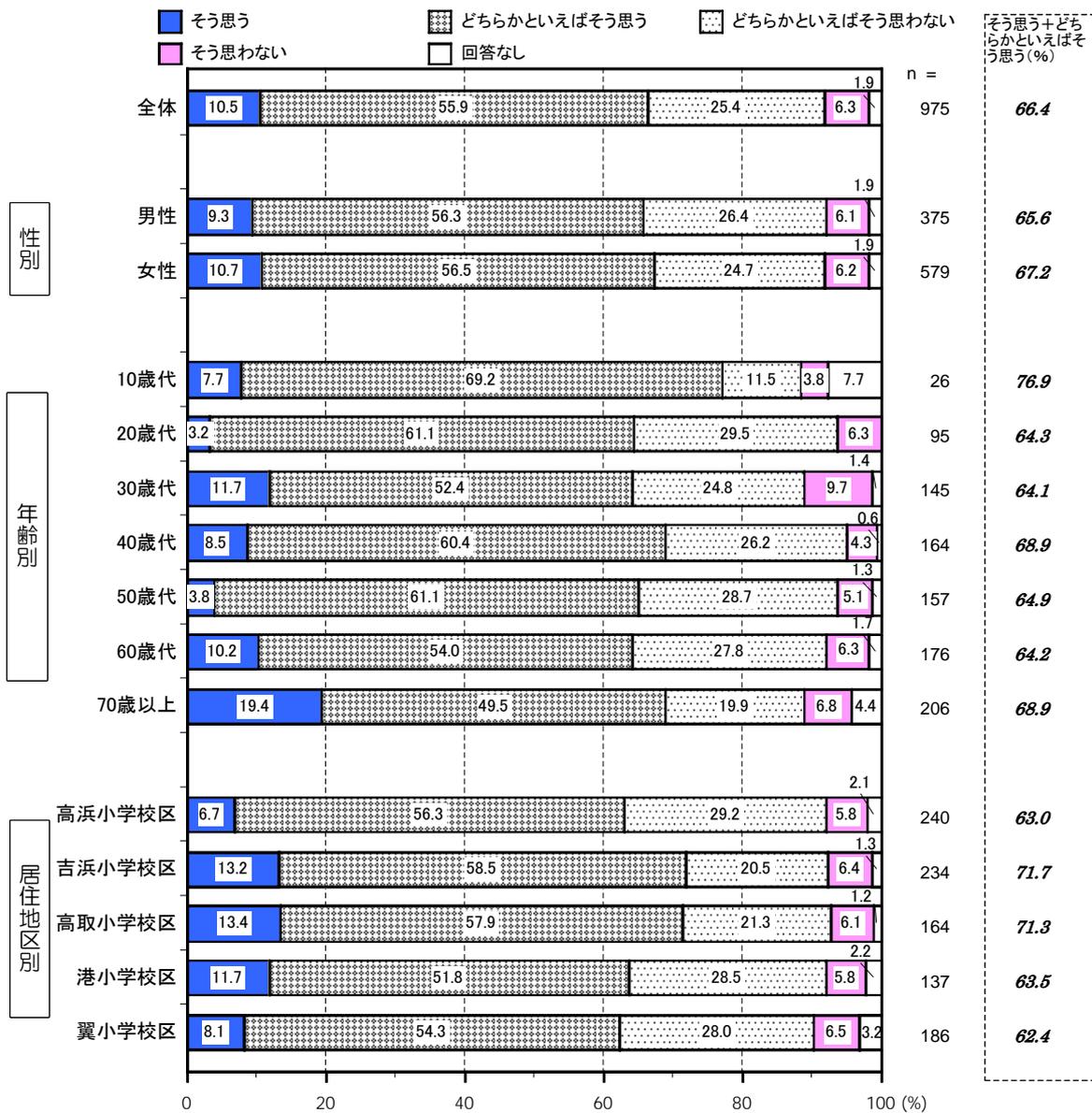
3 高浜市のまちの状況について（設問 1～6）

（1）まちを愛する想いが育まれ、市民みんなが連携・協力して、まちづくりを行っているまちだと思う。（設問1）

「まちを愛する想いが育まれ、市民みんなが連携・協力して、まちづくりを行っているまちだと思う」市民の割合は、「そう思う」が10.5%、「どちらかといえばそう思う」が55.9%であり、合わせて66.4%となっています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は、10歳代（76.9%）で全体に比べて高くなっています。また、「そう思う」の割合は、70歳以上（19.4%）でやや高くなっています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は、吉浜小学校区（71.7%）、高取小学校区（71.3%）で全体に比べてやや高くなっています。

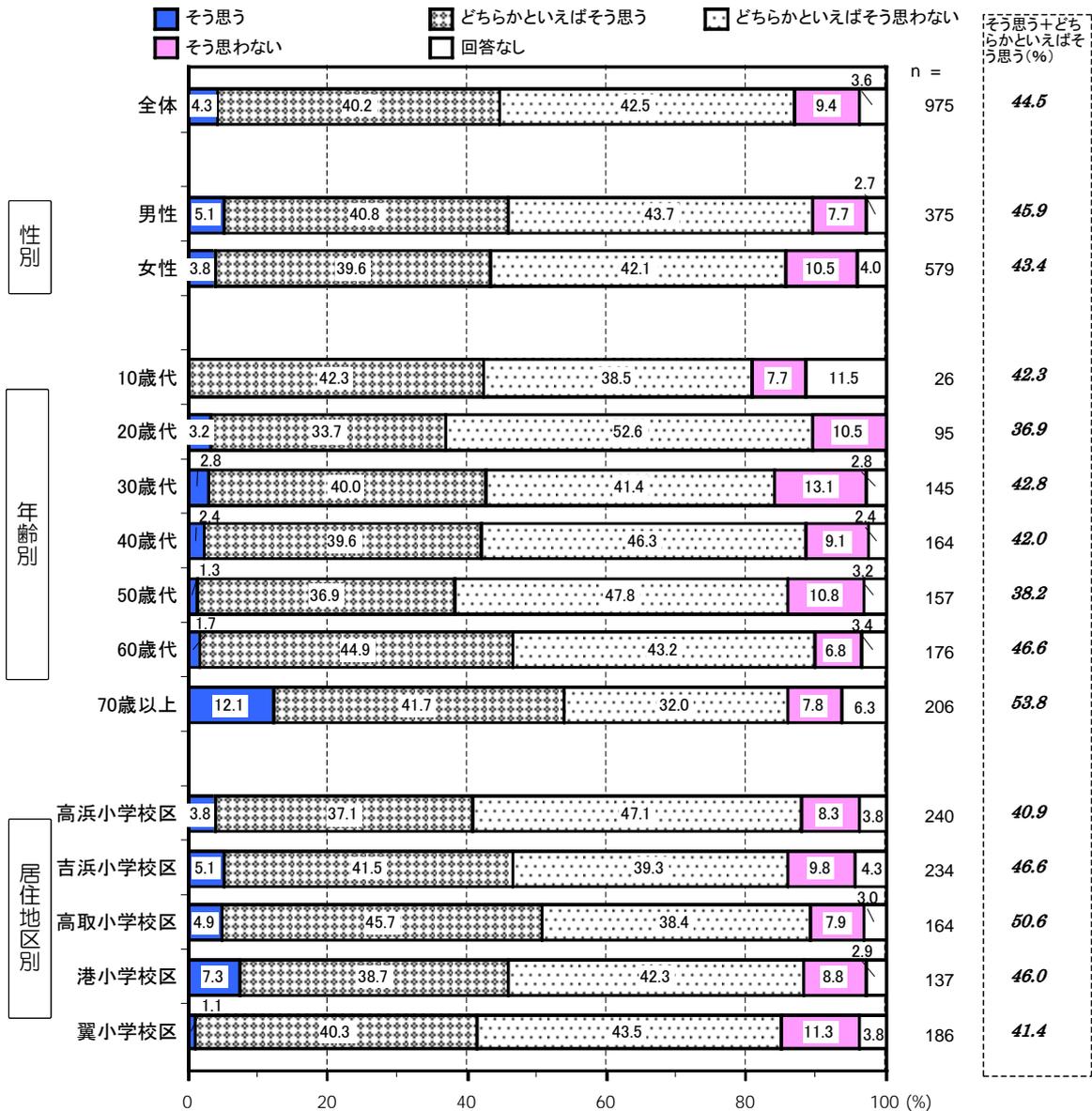


(2) 将来を見据え、計画的で効果的な財政運営が行われているまちだと思ふ。
(設問2)

「将来を見据え、計画的で効果的な財政運営が行われているまちだと思ふ」市民の割合は、「そう思ふ」が4.3%、「どちらかといえばそう思ふ」が40.2%であり、合わせて44.5%となっています。

年齢別では、「そう思ふ」と「どちらかといえばそう思ふ」の合計の割合は、70歳代以上(53.8%)で過半数を占めていますが、これ以外の年齢層ではいずれも半数未満となっており、特に、20歳代(36.9%)と50歳代(38.2%)が全体に比べてやや低くなっています。

居住地区別では、「そう思ふ」と「どちらかといえばそう思ふ」の合計の割合は、高取小学校区(50.6%)で全体に比べてやや高く、過半数を占めていますが、これ以外の地区ではいずれも半数未満となっています。

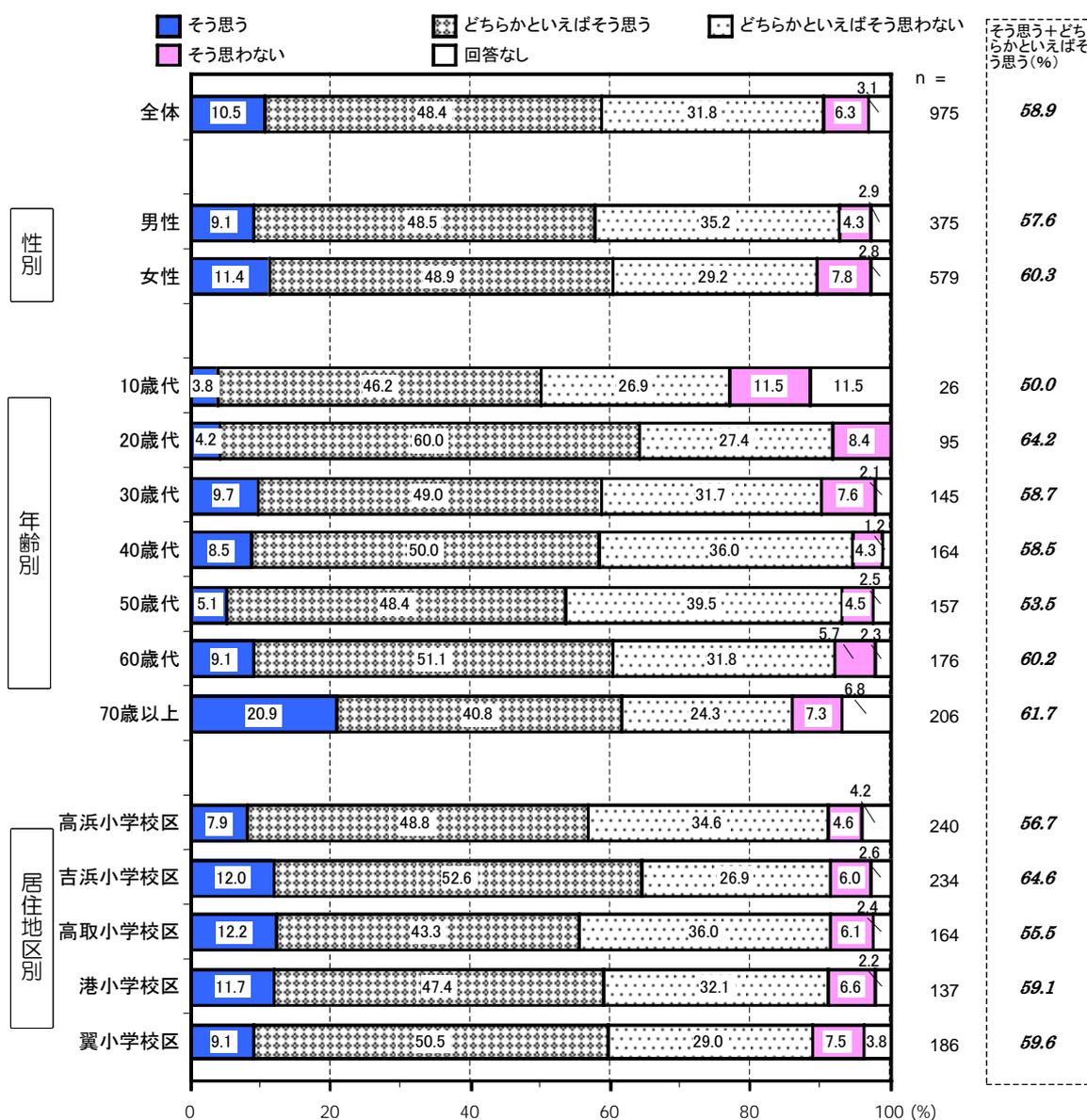


(3) 学び（生涯学習やスポーツなど）を通して、人と人がつながり、まちづくりを担う人が育っているまちだと思う。（設問3）

「学び（生涯学習やスポーツなど）を通して、人と人がつながり、まちづくりを担う人が育っているまちだと思う」市民の割合は、「そう思う」が10.5%、「どちらかといえばそう思う」が48.4%であり、合わせて58.9%となっています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は、20歳代（64.2%）で全体に比べてやや高くなっています。また、「そう思う」の割合は、70歳以上（20.9%）で、他の年代と比べ高くなっています。一方、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は、10歳代（50.0%）と50歳代（53.5%）で全体と比べてやや低くなっています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は、吉浜小学校区（64.6%）で全体に比べてやや高くなっています。

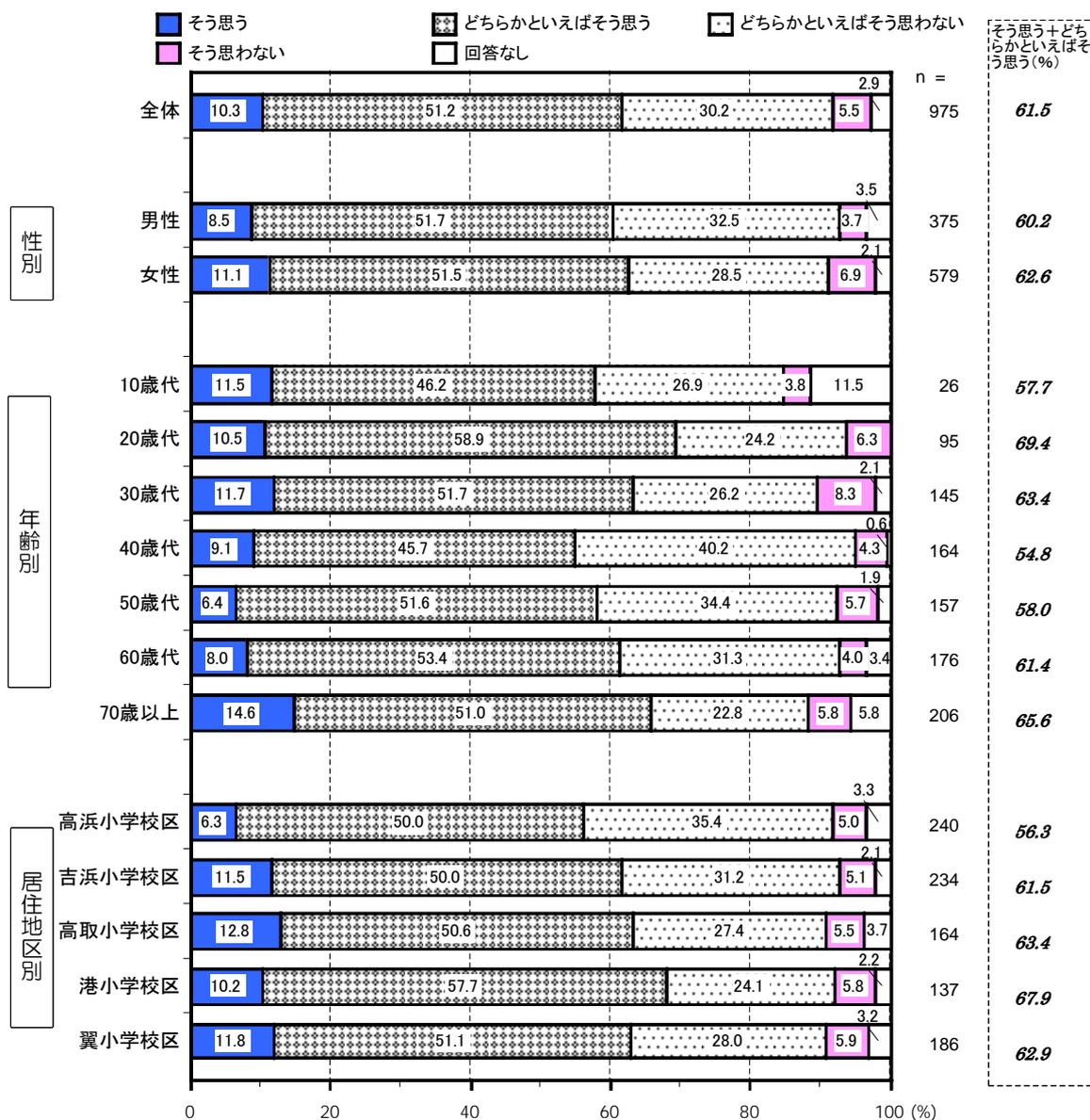


(4) 学校・家庭・地域が連携し、子どもの12年間(4歳～15歳)の学びや育ちを育む体制が整っているまちだと思う。(設問4)

「学校・家庭・地域が連携し、子どもの12年間(4歳～15歳)の学びや育ちを育む体制が整っているまちだと思う」市民の割合は、「そう思う」が10.3%、「どちらかといえばそう思う」が51.2%であり、合わせて61.5%となっています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は、20歳代(69.4%)で全体に比べてやや高くなっている一方、40歳代(54.8%)で全体に比べてやや低くなっています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は、港小学校区(67.9%)で全体に比べてやや高くなっている一方、高浜小学校区(56.3%)で全体に比べてやや低くなっています。

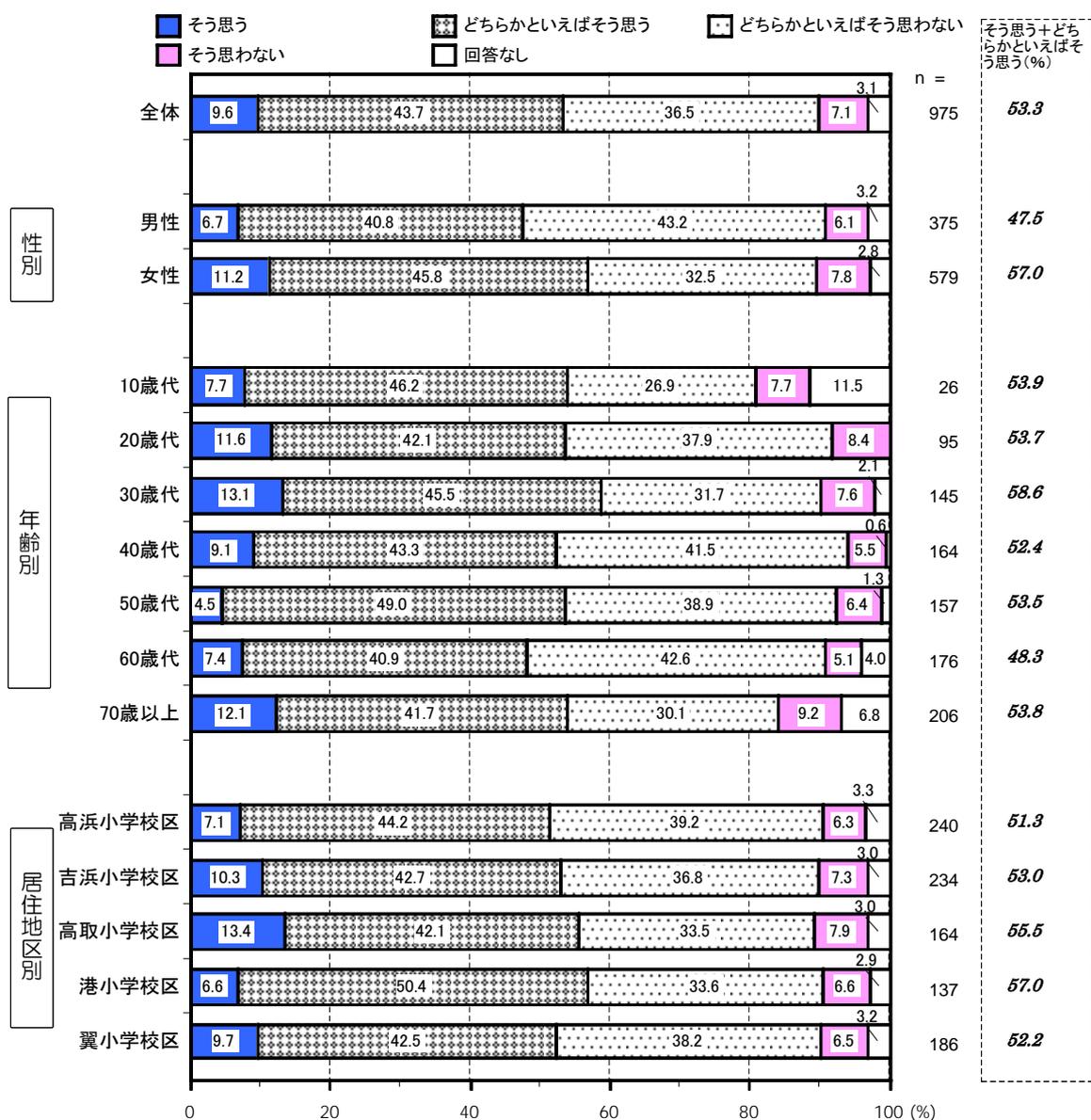


(5) 地域ぐるみで、子育て・子育てを支えているまちだと思う。(設問5)

「地域ぐるみで、子育て・子育てを支えているまちだと思う」市民の割合は、「そう思う」が9.6%、「どちらかといえばそう思う」が43.7%であり、合わせて53.3%となっています。

性別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は、女性(57.0%)で全体と比べてやや高くなっており、その割合は、男性(47.5%)よりも9.5ポイント上回っています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は、30歳代(58.6%)で全体に比べてやや高くなっている一方、60歳代(48.3%)で全体に比べてやや低くなっています。

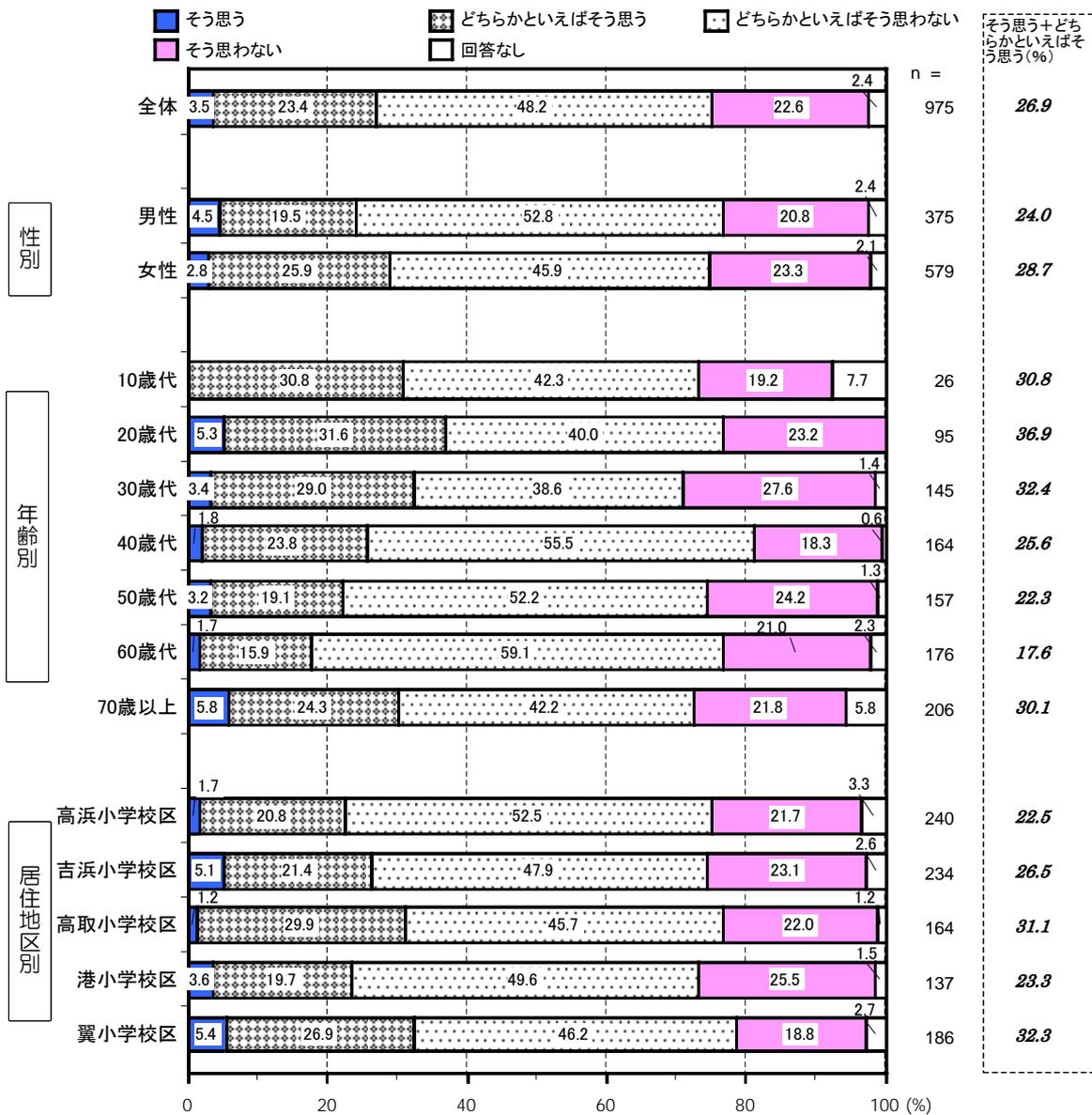


(6) 産業が活性化して、まちが元気になっていると思う。(設問 6)

「産業が活性化して、まちが元気になっていると思う」市民の割合は、「そう思う」が 3.5%、「どちらかといえばそう思う」が 23.4%であり、合わせて 26.9%と、「どちらかといえばそう思わない」(48.2%)と「そう思わない」(22.6%)の合計(70.8%)を 43.9ポイントも下回っています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は、20歳代(36.9%)で全体に比べて高く、また、30歳代(32.4%)で全体に比べてやや高くなっていますが、60歳代(17.6%)でやや低くなっています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は、翼小学校区(32.3%)、高取小学校区(31.1%)で全体に比べてやや高くなっています。



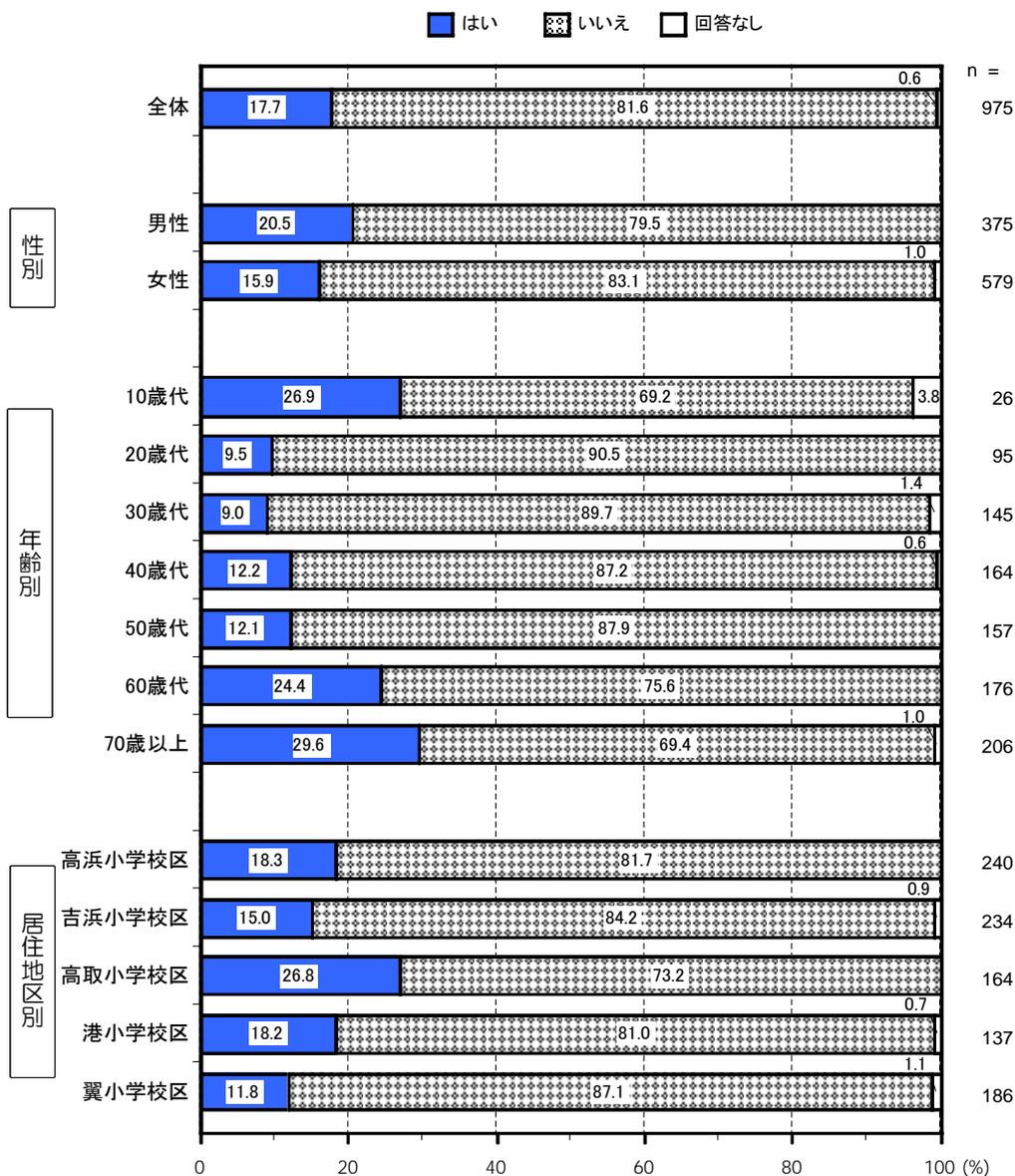
4 高浜市の市政やまちづくり活動などへの参加について（設問 7～10）

（1）あなたは、地域福祉に関するボランティア活動（困りごとを抱える人への見守りや生活の手助け、災害時要援護者支援など）に参加したことがありますか？
（設問 7）

「地域福祉に関するボランティア活動（困りごとを抱える人への見守りや生活の手助け、災害時要援護者支援など）に参加したことがある」市民の割合は、17.7%となっています。

年齢別では、70歳以上（29.6%）と10歳代（26.9%）、60歳代（24.4%）で高くなっている一方で、20歳代から50歳代までの年齢層においては、いずれも10%前後にとどまっています。

居住地区別では、全体と比べて、高取小学校区（26.8%）でやや高くなっている一方、翼小学校区（11.8%）でやや低くなっています。

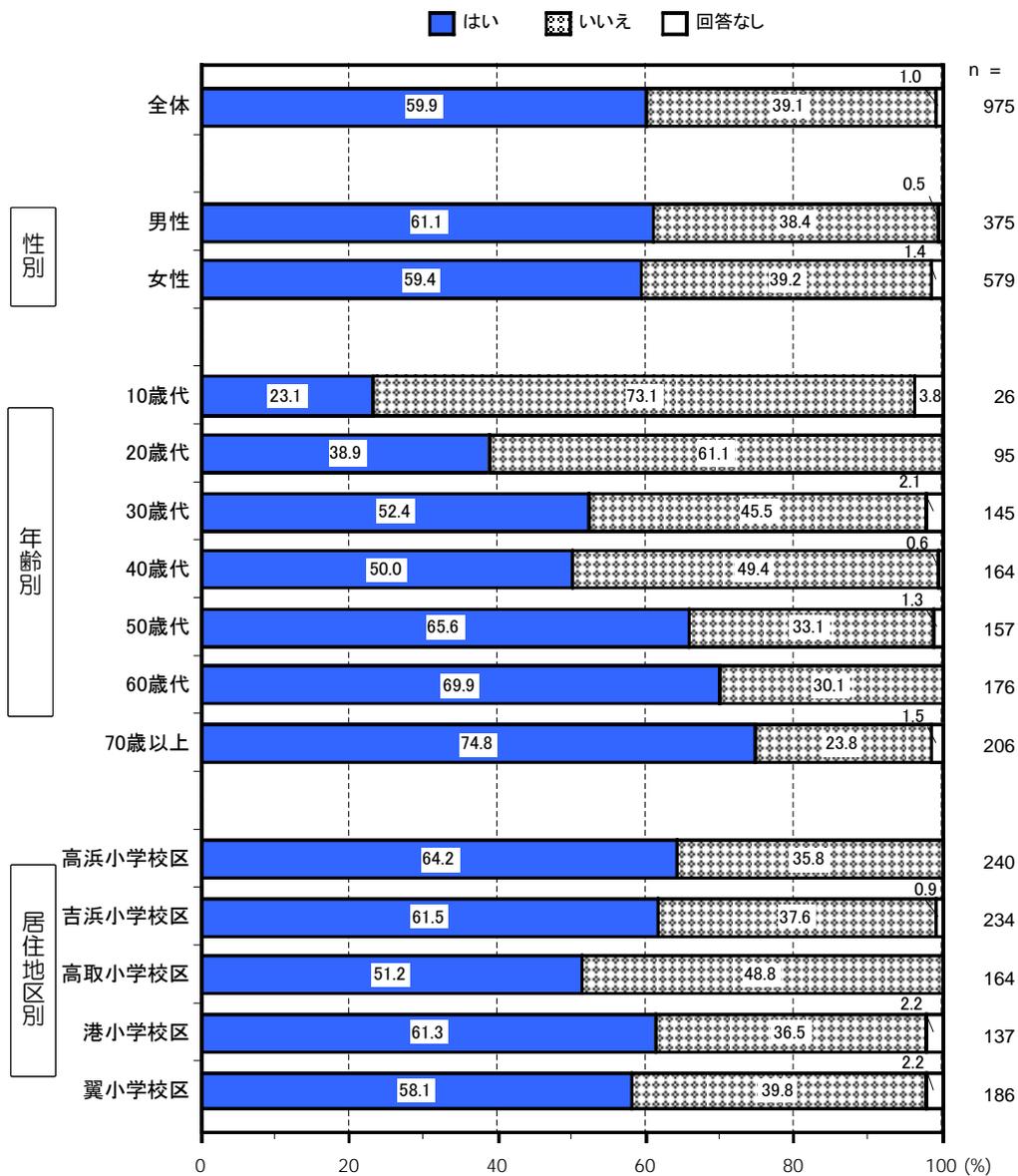


(2) あなたは、高浜市いきいき広場にある、育児・介護・健康・生活困窮などの不安を抱えた人が相談できる福祉の総合窓口「地域包括支援センター」を知っていますか？（設問8）

「高浜市いきいき広場にある、育児・介護・健康・生活困窮などの不安を抱えた人が相談できる福祉の総合窓口「地域包括支援センター」を知っている」市民の割合は、59.9%と過半数を占めています。

年齢別では、年代が高くなるほど「知っている」市民の割合が高くなる傾向にあり、最も高い70歳以上では74.8%を占めています。

居住地区別では、全体と比べて、高取小学校区（51.2%）でやや低くなっています。

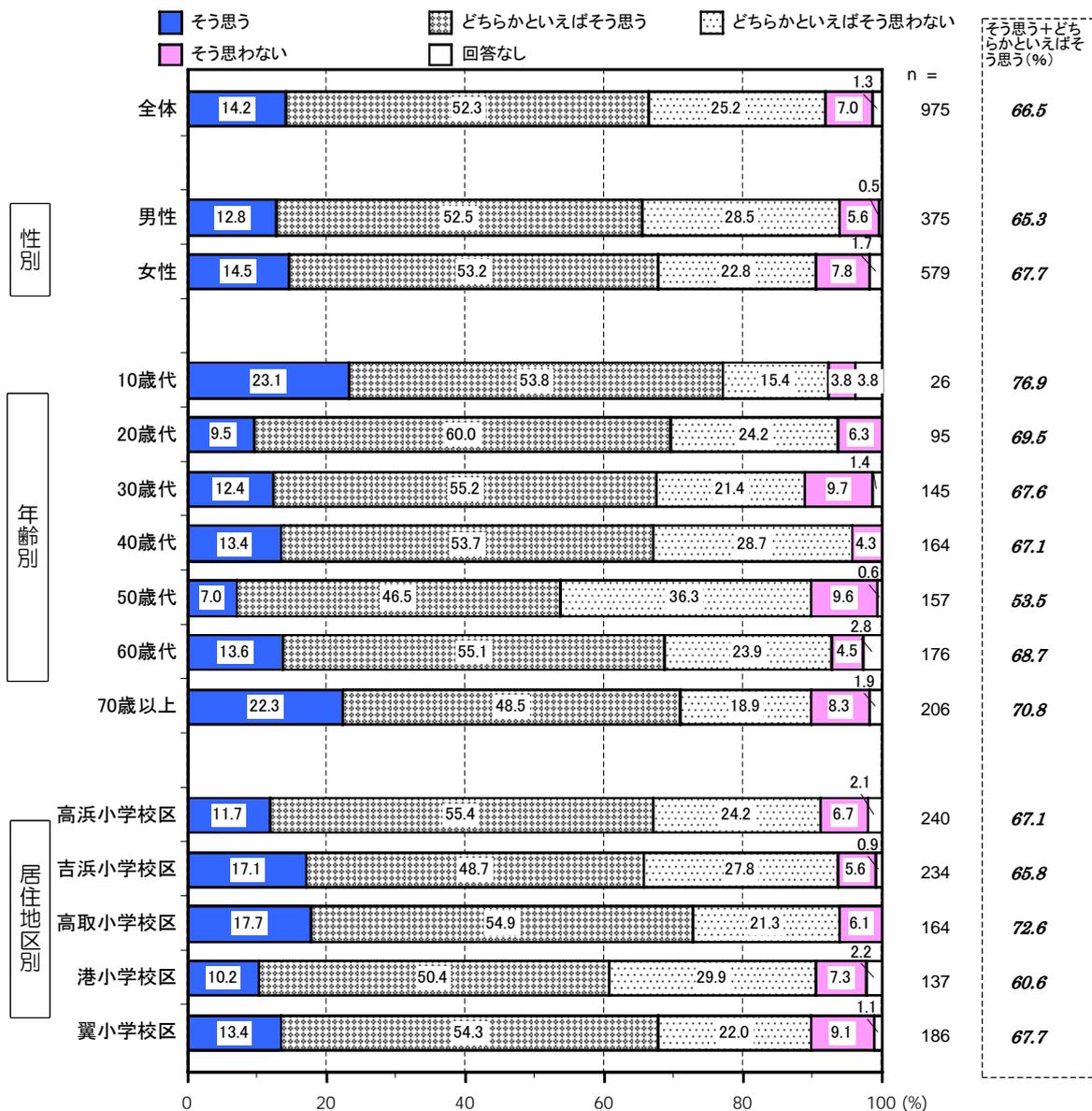


**(3) 高浜市は、暮らしやすい環境が形成されているまちだと思いますか？
(設問9)**

「高浜市は、暮らしやすい環境が形成されているまちだと思う」市民の割合は、「そう思う」が14.2%、「どちらかといえばそう思う」が52.3%であり、合わせて66.5%となっています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は、10歳代(76.9%)で全体に比べて高くなっています。また、「そう思う」の割合は、10歳代(23.1%)と70歳以上(22.3%)で全体と比べてやや高くなっています。一方、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は、50歳代(53.5%)で全体に比べて低くなっています。

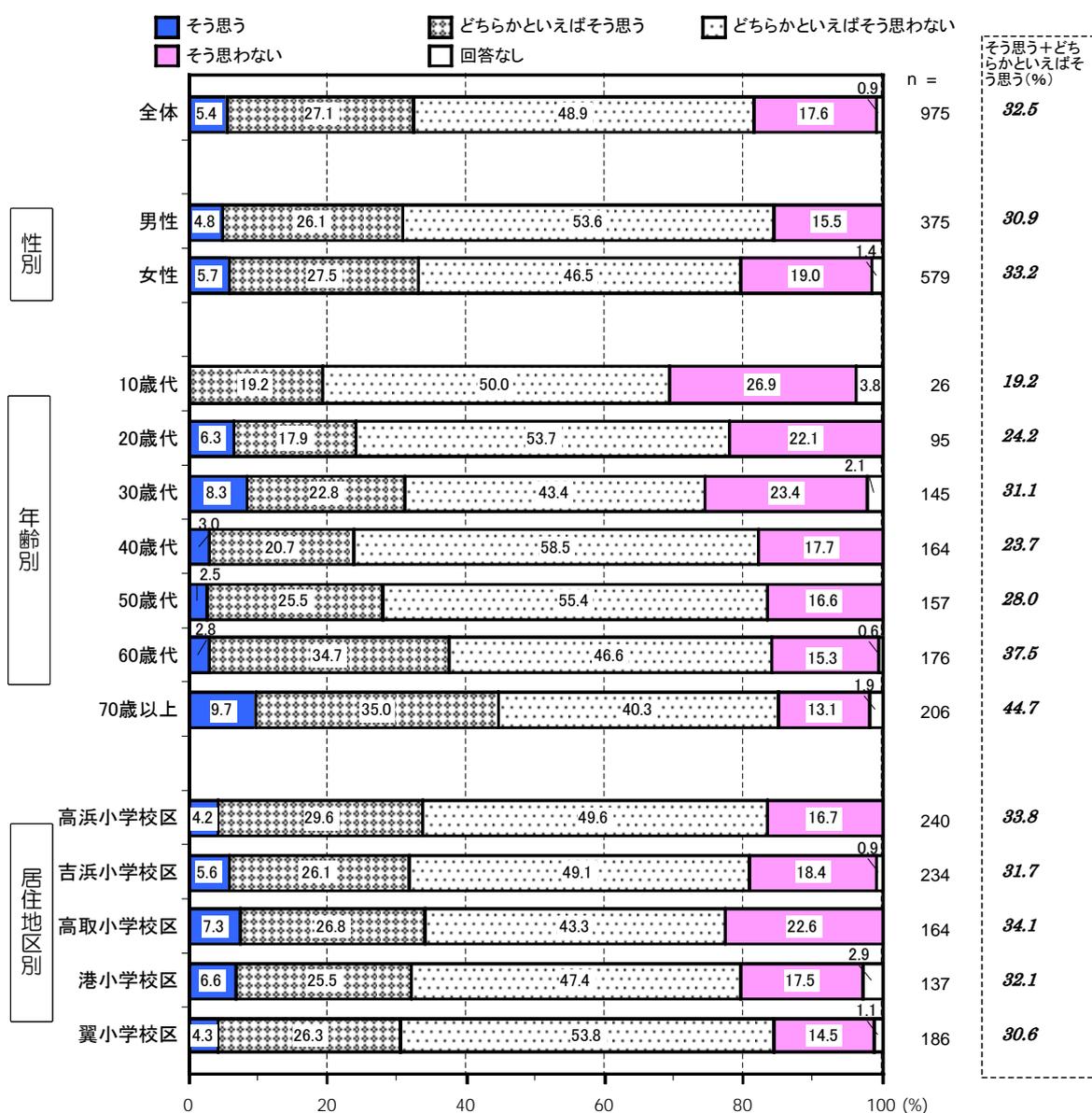
居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は、港小学校区(60.6%)で全体に比べてやや低くなっています。



(4) あなた自身、災害（地震や風水害など）への備えができていますか？ (設問 10)

「あなた自身、災害（地震や風水害など）への備えができてと思う」市民の割合は、「そう思う」が5.4%、「どちらかといえばそう思う」が27.1%であり、合わせて32.5%と、「どちらかといえばそう思わない」（48.9%）と「そう思わない」（17.6%）の合計（66.5%）を34.0ポイントも下回っています。

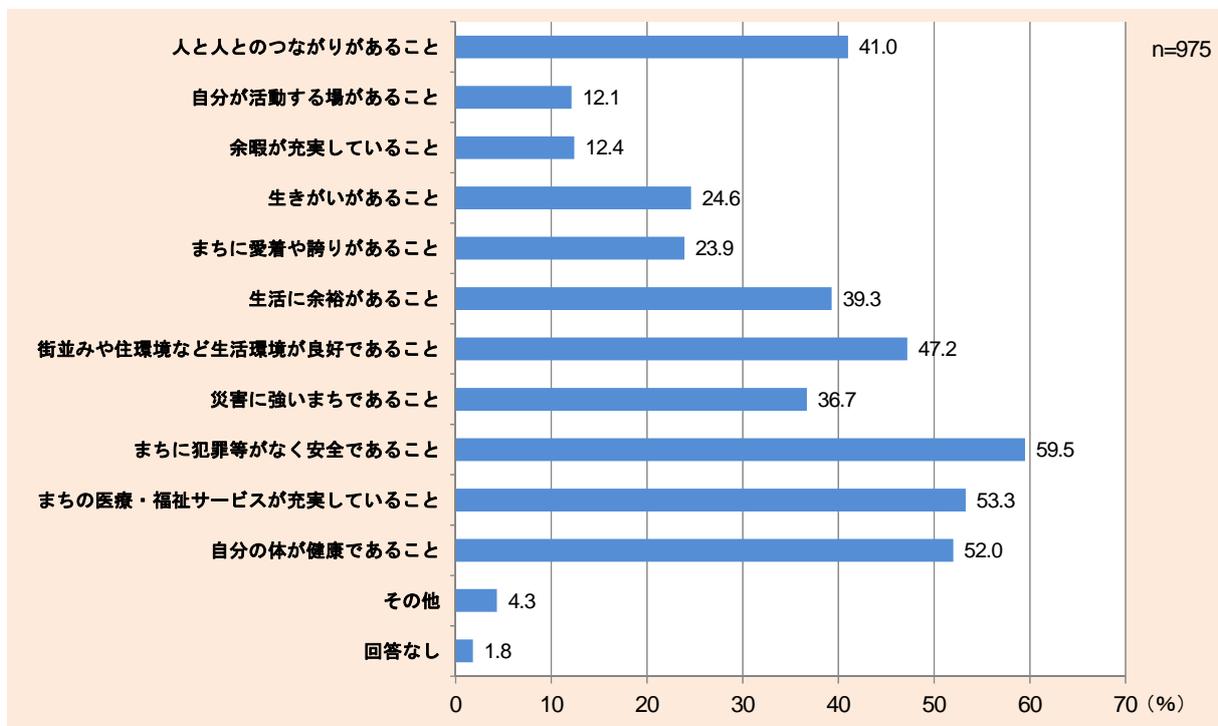
年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は、70歳以上（44.7%）で全体に比べて高く、また、60歳代（37.5%）で全体に比べてやや高くなっています。一方、10歳代（19.2%）で低く、また、40歳代（23.7%）と20歳代（24.2%）でやや低くなっています。



5 高浜市に暮らす日常の「心地よさ」について (設問 11)

あなたが、高浜市に暮らす日常の「心地よさ」を実感するために、重要視するものは何ですか？(これが充実すれば「心地よさ」を感じるというものを選んでください。)
(設問 11)

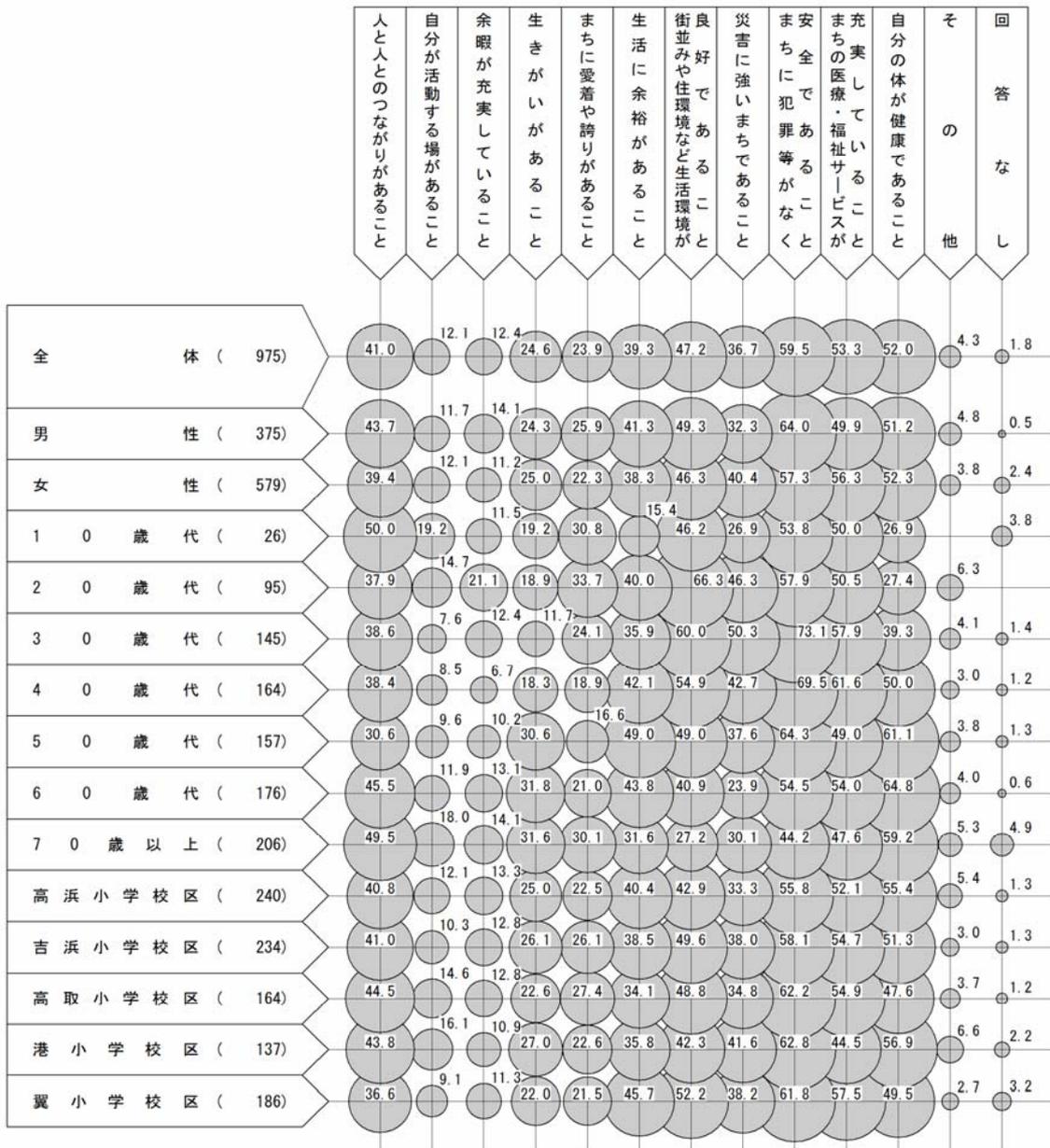
「高浜市に暮らす日常の「心地よさ」を実感するために、重要視するもの」として最も高いのは、「まちに犯罪等がなく安全であること」(59.5%)で、次いで、「まちの医療・福祉サービスが充実していること」(53.3%)、「自分の体が健康であること」(52.0%)といった医療・福祉や健康に関する事項が重要視されています。また、「街並みや住環境など生活環境が良好であること」(47.2%)や「人と人とのつながりがあること」(41.0%)についても比較的高くなっています。



年齢別にみると、「まちに犯罪等がなく安全であること」については、特に、30歳代(73.1%)や40歳代(69.5%)で全体に比べて高い一方で、70歳以上(44.2%)で低くなっています。

「自分の体が健康であること」については、60歳代(64.8%)で全体に比べて高い一方で、10歳代から30歳代の若年層では低くなっています。「街並みや住環境など生活環境が良好であること」については、20歳代(66.3%)と30歳代(60.0%)で高い一方で、70歳以上(27.2%)で低くなっています。「人と人とのつながりがあること」については、50歳代(30.6%)で低くなっています。「生活に余裕があること」については、10歳代(15.4%)で全体に比べて低くなっています。「生きがいがあること」については、30歳代(11.7%)をはじめとした若年層で低い一方で、50歳代以上の中高年層でやや高くなっています。

居住地区別では、港小学校区で「自分の体が健康であること」(56.9%)が全体と比べてやや高くなっている一方で、「まちの医療・福祉サービスが充実していること」(44.5%)が全体と比べてやや低くなっています。また、翼小学校区で「街並みや住環境など生活環境が良好であること」(52.2%)と「生活に余裕があること」(45.7%)がやや高く、高取小学校区で「生活に余裕があること」(34.1%)がやや低くなっています。しかしながら、全般的にみて居住地区の違いによる大きな差はありません。

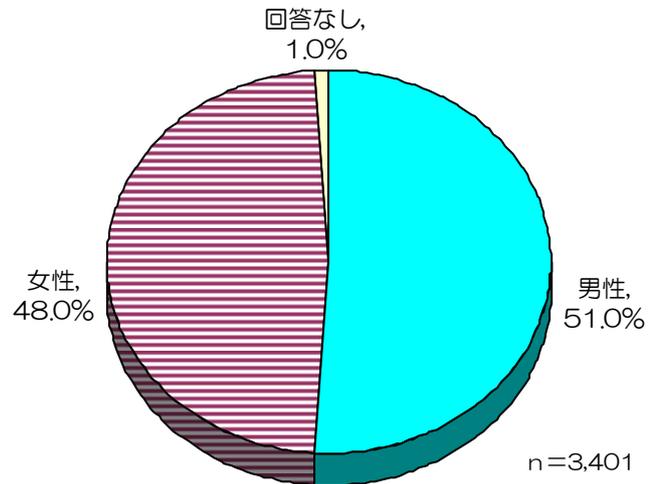


3 児童・生徒の意識や行動に関するアンケート

(1) 回答者の属性 (設問1～3)

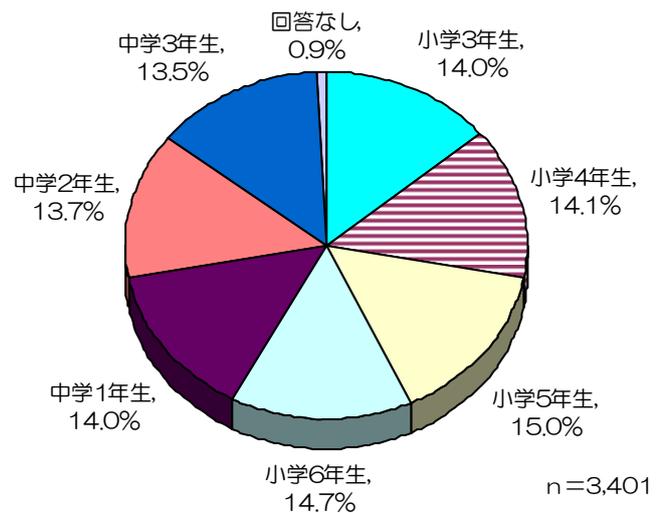
1) 性別 (設問1)

「男性」が 51.0%、「女性」が 48.0%
となっています。



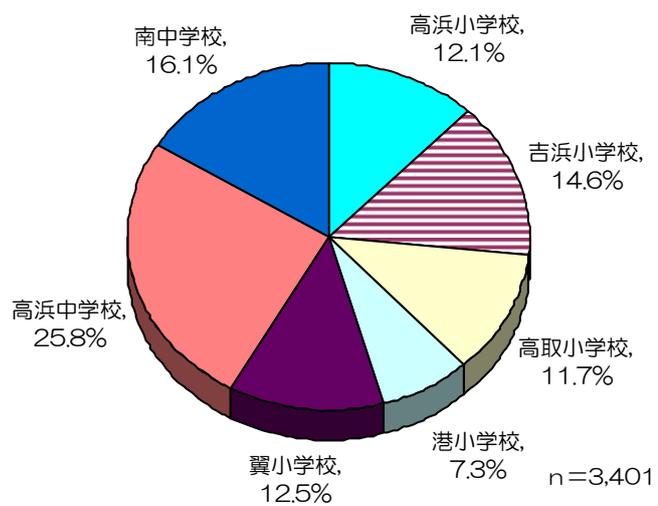
2) 学年 (設問2)

「小学3年生」から「中学3年生」
まで、いずれの学年もまんべんなく
13～15%程度となっています。



3) 小学校・中学校（設問3）

「高浜中学校」（25.8%）が最も多く、「南中学校」（16.1%）、「吉浜小学校」（14.6%）の順となっています。



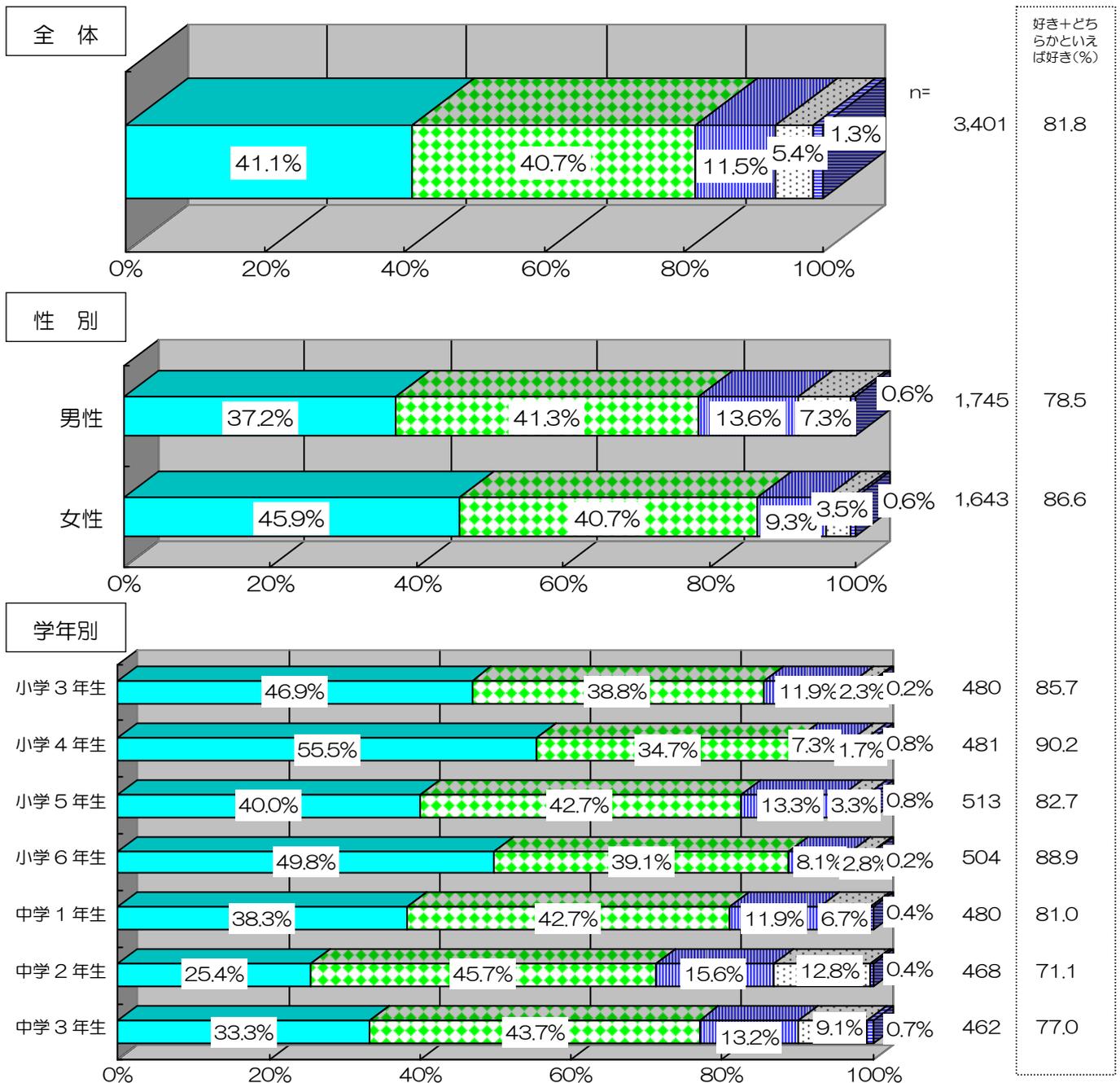
(2) 児童・生徒の意識 (設問4~7)

1) あなたは学校が好きですか？ (設問4)

「学校が好き」という児童・生徒の割合は、「好き」が41.1%、「どちらかといえば好き」が40.7%であり、合わせて81.8%となっています。

男性よりも女性の方が好きという割合が高く、学年別では、小学4年生(90.2%)が最も高く、中学2年生(71.1%)が最も低い割合となっています。

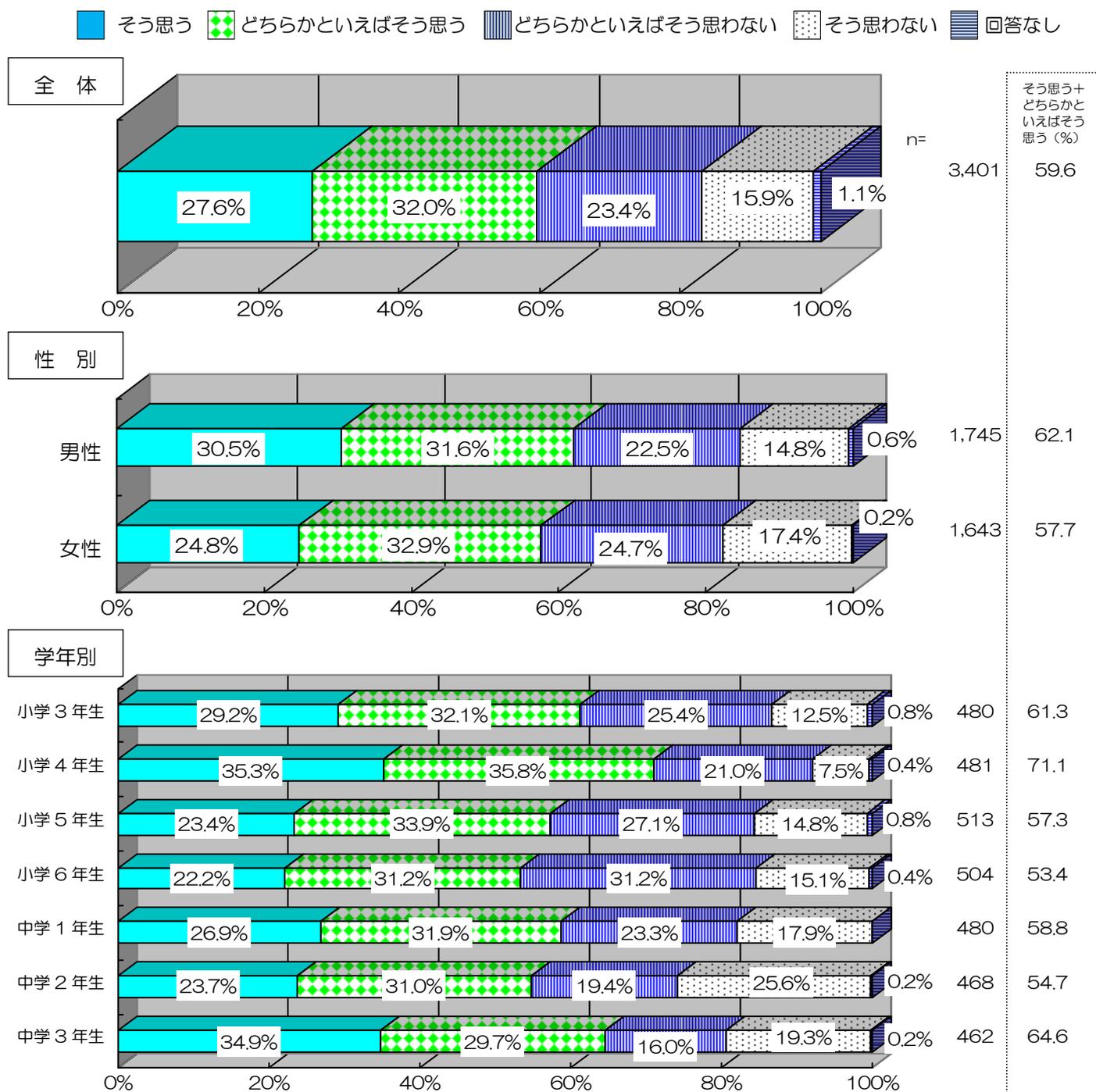
■ 好き ■ どちらかといえば好き ■ どちらかといえば好きではない ■ 好きではない ■ 回答なし



2) あなた、授業中に手をあげて、発言していますか？（設問5）

「授業中に手をあげて発言している」と思う児童・生徒の割合は、「そう思う」が27.6%、「どちらかといえばそう思う」が32.0%であり、合わせて59.6%となっています。

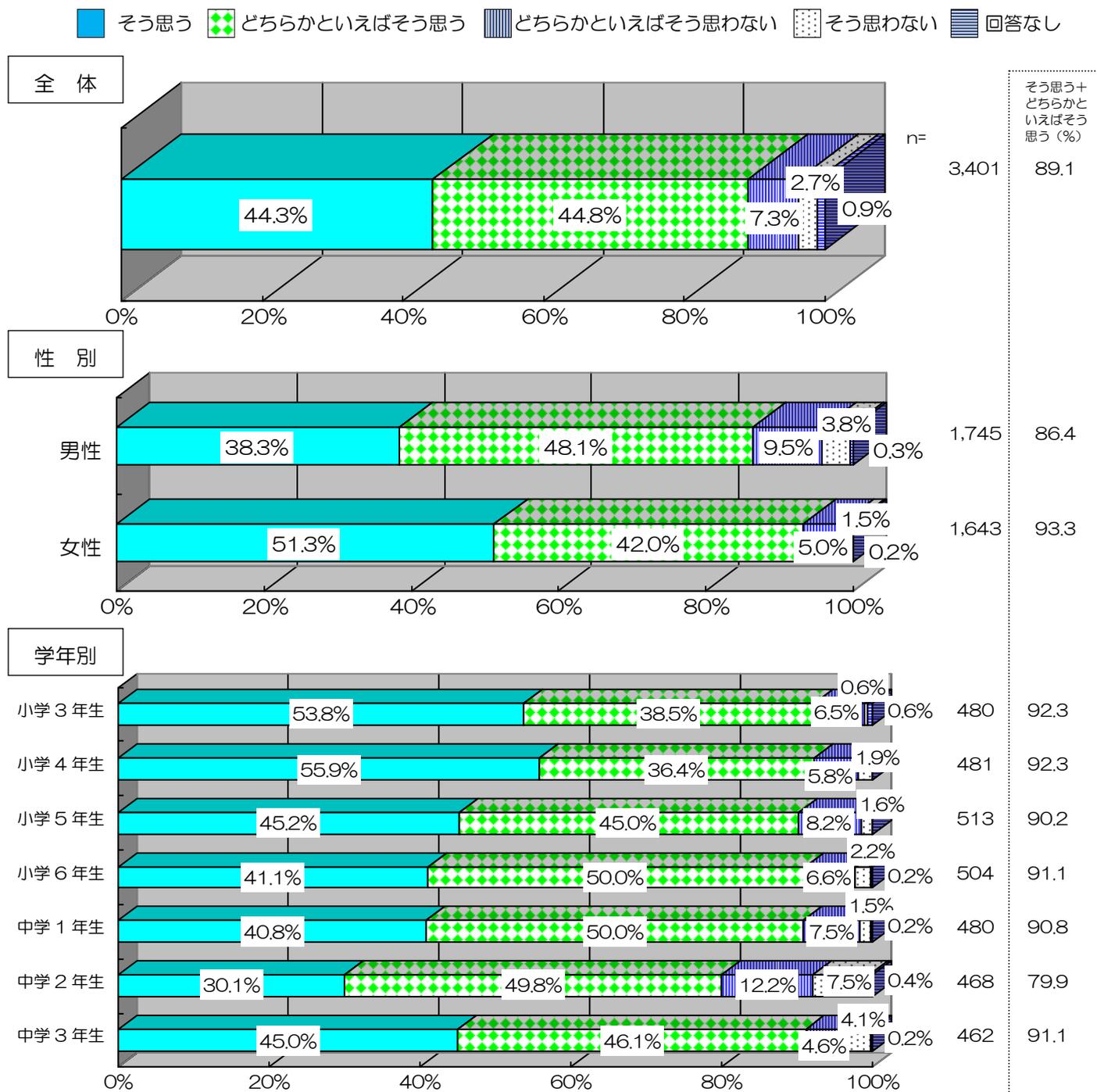
学年別では、小学4年生（71.1%）が最も高く、小学5年生から中学2年生までが50%台となっており、なかでも小学6年生（53.4%）が最も低い割合となっています。



3) あなたは、授業中に先生や友達の話聞いていますか？（設問6）

「授業中に先生や友達の話聞いている」と思う児童・生徒の割合は、「そう思う」が44.3%、「どちらかといえばそう思う」が44.8%であり、合わせて89.1%となっています。

男性より女性の方が「話を聞いている」という割合が高く、学年別では、小学3年生（92.3%）が最も高く、その他の学年でも90%台となっていますが、中学2年生（79.9%）が最も低い割合であり、唯一90%台に達していない結果となっています。



4) あなたは、家で宿題以外の勉強をしていますか。(設問7)

「家で宿題以外の勉強をしている」と答えた児童・生徒の割合は、「している」が32.3%、「どちらかといえばしている」が27.1%であり、合わせて59.4%となっています。

男性より女性の方が「している」という割合が高く、学年別では、小学4年生(71.6%)が最も高く、中学2年生(43.8%)が最も低い割合となっており、中学生より小学生の方が、高い割合となっています。

